

Tips : ページトラッキングを利用する

Copyright © EMIT Japan Corporation

概要

WebCT には学生がコース教材にどのくらいアクセスがあったかを確認できる機能が用意されています。対象は、コンテンツページです。コンテンツページへのアクセス回数やページ閲覧に費やした時間が確認できるので、このデータを分析することによって教材の分量や内容の評価を行うことができます。

このTips は以下の内容を含んでいます。

ページ利用のトラッキング
ページトラッキングでは、学生がどれくらいの頻度でコンテンツモジュールの各ページに訪問しているかや、ディスカッションへの投稿数がかかります。
カテゴリでソートする場合は、カテゴリヘッダをクリックしてください。
ページを見たい場合は、そのページをクリックしてください。

合計:

| ページ | ヒット | 時間 | 時間/ヒット | 投稿数 |
|-----|-----|-----------|--------|-----|
| 25 | 25 | 01時12分08秒 | 02時53分 | 2 |

ページ: [1] [5] [1]

| ページ名 | ヒット | 時間 | 時間/ヒット | 投稿数 |
|-----------------------------------|-----|--------|--------|-----|
| ソート | ソート | ソート | ソート | ソート |
| シラブス 榎田先生講演だけだ。 | 5 | 05時31分 | 01時06分 | 1 |
| ゆび | 4 | 26時46分 | 06時42分 | 0 |
| Course Content Example | 2 | 00時20分 | 00時10分 | 0 |
| ブック注文実行 | 2 | 00時17分 | 00時08分 | 0 |
| 募集 | 1 | 22時47分 | 22時47分 | 0 |
| (タイトルなし... excel_test6/test.html) | 1 | 02時16分 | 02時16分 | 0 |
| 画像追加 | 1 | 00時01分 | 00時01分 | 0 |

ページトラッキング画面へのアクセス
ページトラッキング画面で確認できる項目
補足事項

図 1 : ページトラッキングの画面

ページトラッキング画面へのアクセス

準備

この機能はコースにコンテンツモジュールが追加されており、かつコンテンツモジュールにコンテンツページが追加されていないと確認することはできません。あらかじめ適当なコンテンツページを用意しておきます。

手順

1. ナビゲーションバーの「デザイナー用メニュー」の下で、「コース管理」をクリックします。コース管理画面が表示されます。

2. 画面右にある「ページトラッキング」をクリックします。ページ利用のトラッキング画面が表示されます。

これで、ページトラッキングへのアクセスは完了です。次に、各項目の詳細を学習します。

ページトラッキング画面で確認できる項目

ページトラッキングには大きく分けて表1のように2つの表が表示されます。

表 1 : ページトラッキング画面にあるテーブル

| 表の名称 | 概要 |
|---------------|---|
| 合計テーブル | ページトラッキングの対象となるページの合計が表示されています。 リセット を押すと、今までの履歴がリセットされます。 |
| ページトラッキングテーブル | ページごとに各項目が表示されています。 項目名下の「ソート」をクリックすると、指定した項目名でソートされます。 詳細は以下にあります。 |

合計テーブル

- ▶ **ページ**
コースに含まれるコンテンツページ数。1つのページを複数のコンテンツモジュールで利用している場合は1ページとしてカウントされます。
- ▶ **ヒット**
ページトラッキングテーブルのヒット数の総数。
- ▶ **時間**
ページトラッキングテーブルの時間数の総数。
- ▶ **時間/ヒット**
合計時間/合計ヒット数。1ヒットにつき平均何分くらい時間をかけているかの大雑把な値。
- ▶ **投稿数**
コンテンツページからディスカッションに投稿した総和。

ページトラッキングテーブル

➤ ページ

ページが20以上ある場合は画面に表示するページが分割されます。このドロップダウンリストを利用して、ページを移動することができます。

➤ ページ名

コースのコンテンツモジュールに登録されているページのタイトルです。テストも、ページとして登録していればページ名に表示されます。ページ名は、「学生ビューの更新」をして学生に公開していなくてもページ名として登録されます。

➤ ヒット

学生がそれぞれのページにアクセスした回数。以下の場合に、コンテンツページにアクセスしたとしてカウントされます。

- ・コンテンツモジュールの目次からアクセスした時
- ・プレットラムからアクセスした時
- ・カレンダーからのリンクでアクセスした時
- ・インデックスからアクセスした時
- ・アクションメニューで「リトレース」をクリックした時
- ・アクションメニューで「リフレッシュ」をクリックした時

➤ 時間

「ページを表示した時刻」から「別ページを表示した時刻」までを学生がそのページに費やしていた時間として計算しています。WebCT では時間カラムの更新タイミングを以下の場合としています。

- ・別のコンテンツページを表示した時
 - ・オーガナイザページを表示した時
 - ・アクションメニューのリファレンスを表示した時
 - ・アクションメニューのノートを表示した時
 - ・アクションメニューのブックマークを表示した時
- この間、別のツールを利用していたとしても、その直前に見ていたページを見ていた時間として計算されます。また、ページをアクセスしてから30分以上経過した場合はカウントされません。

➤ 時間/ヒット

1アクセス(ヒット)あたりの平均使用時間。ページごとにアクセスされていた時間をヒット数で割ったもの。

➤ 投稿数

ページ付属のアクションメニューにあるディスカッションから「ノート」トピックに投稿があった合計数。

ディスカッションツールがコースに単独のツールとして用意されている場合、そこから「ノート」トピックに投稿した数も同じくカウントされます。また、デザイナー、共同デザイナーが投稿したものはカウントされず、学生もしくはティーチングアシスタントが投稿した数のみがカウントされます。

補足事項

補足

- 学生ごとのページアクセスについては、「学生トラッキング」ツールを利用して確認することができます。「コース管理」「学生トラッキング」で見ることができます。

既知のバグ

- 確認済みの問題として、時間フィールドの表示に一部問題があります。分を秒、時を分と読み替えてください。

<例>

| 表示されている内容 | 実際意味する内容 |
|----------------|----------------|
| 34 時 24 分 | 34 分 24 秒間 |
| 02 時 43 分 51 秒 | 2 時間 43 分 51 秒 |
| 00 時 32 秒 | 32 秒間 |

このTips は以下の環境で確認しました。

サーバ : WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3
クライアントOS : WindowsXP
クライアントブラウザ : IE6.0SP1

(2003年11月7日 瀧 美渚子作成)